

第14回 ソーシャルワーク教育推進大会

開催要綱

【大会テーマ】

地域共生社会の実現とソーシャルワーカーの育成

～先を見通せるソーシャルワーカーをどう育てるか

1. 趣 旨

地域包括ケアシステムの深化、推進が図られようとしているなか、社会福祉法の改正により、地域福祉の推進の理念として、支援を必要とする住民（世帯）が抱える多様で複合的な「地域生活課題」について、住民や福祉関係者による把握、関係機関との連携等による解決が図られることをめざすことが明記されました。

この地域共生社会の理念を実現するためには、市町村において包括的な支援体制づくり、住民参加の促進のための環境整備、各制度の相談機関等の協働等が必要となり、併せて、介護人材の確保や住民の支え合いによる新たな生活支援体制づくりも進められています。

本大会は、そのような中で、ソーシャルワーカーの役割や養成教育はどのようなことが求められるか、社会福祉士と精神保健福祉士、それぞれの養成教育に関わる養成校教員や実習指導者、社会福祉施設・機関の実践者、高校教員等がともに協議し、実践活動に活かしていく上での課題について共有かつ示唆を得る機会とすることを目的に開催します。

2. 主 催 日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック

(開催主管支部：千葉県支部)

3. 共 催 淑徳大学社会福祉学会

4. 後 援 千葉県社会福祉協議会

千葉市社会福祉協議会

千葉県社会福祉士会

千葉県医療ソーシャルワーカー協会

千葉県精神保健福祉士協会

5. 期 日 2018 (平成 30) 年 11 月 24 日 (土)

6. 会 場 淑徳大学千葉キャンパス

〒260-8701 千葉県千葉市中央区大蔵寺町 200 番地 TEL 043 (265) 7331 (代表)

7. 参加費 1,000円 (学生・大学院生無料)

8. 対象者 日本ソーシャルワーク教育学校連盟加盟校教職員、

社会福祉施設・機関職員、医療機関、高等学校教職員、学生・大学院生

その他ソーシャルワーク教育に関心のある方

9. 日程

【11月24日(土)】開場・受付(10時00分～10時30分)

10時30分～10時45分 ……………開会

ソ教連関東甲信越ブロック運営委員長 船水浩行(東海大学)
千葉県支部開催校 淑徳大学

10時45分～12時15分 ……………基調講演(90分)

「地域共生社会の実現と福祉人材確保策のこれから」

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課

福祉人材確保対策官(福祉人材確保対策室長)

柴田拓己 氏

12時15分～13時15分 ……………昼食・休憩(昼食は予め、各自ご用意ください)

13時15分～15時45分 ……………テーマ別分科会(150分) (敬称略)

<p>第1分科会</p>	<p>コーディネーターとしてのコミュニケーションスキル —「すぐに使える! 学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習」から—</p> <p>これまでの演習テキストであまり取り上げられなかったが、今後の社会福祉士に必要と思われるコーディネーションをテーマに学生や実践者の身近な暮らしから専門性に取り組めるワークの展開を試みます。テキストを実践する際の展開方法についても解説します。</p>	<p>趣旨説明 元橋良之(首都医校)</p> <p>話題提供 前廣美保(武蔵野大学) 北爪克洋(東京福祉大学)</p> <p>コーディネーター 庄司妃佐(和洋女子大学)</p> <p>幹事(千葉県支部) 高木憲司(和洋女子大学) 佐藤まゆみ(和洋女子大学)</p>
<p>第2分科会</p>	<p>地域共生社会の推進におけるソーシャルワーカーの育成と共生型サービスの現状</p> <p>地域の生活者・その家族等が抱える、福祉、介護、保健医療、住まい、就労、教育、社会的孤立といった課題に対して、個別支援と地域づくりをすすめていくコミュニティソーシャルワーカーをどのように育成するか、また、共生型福祉サービスは今後どう地域社会で展開されていくかについて政策、実践の両面から考えます。</p>	<p>パネリスト 後藤真一郎(全国社会福祉協議会) 朝比奈ミカ(中核支援センターがじゅまる) 太齊寛(ちば生活支援舎) 古市こずえ(東海村社会福祉協議会)</p> <p>コーディネーター 山下興一郎(淑徳大学)</p> <p>幹事(千葉県支部) 清水正美(城西国際大学) 原田聖子(江戸川学園おおたかの森専門学校) 向井智之(聖徳大学)</p>
<p>第3分科会</p>	<p>外国人介護士は人材確保策の切り札となるか</p> <p>2025年には介護人材が38万人不足するともいわれている中、外国人介護士の取組みが進んでいる。それぞれの立場の方からの報告をもとに、介護の技能実習など現状と課題について考えます(本分科会は淑徳大学社会福祉学会の継続シンポジウムを兼ね、当学会の企画により本大会分科会の一部として共催されます)。</p>	<p>発表者 湯川智美(高齢者福祉事業支援協会) 送り出し国・送出機関(調整中) タオ(裕和園 EPA ベトナム人介護士)</p> <p>コメンテーター 柴田拓己(厚生労働省)</p> <p>コーディネーター 藤野達也(淑徳大学)</p> <p>幹事 淑徳大学社会福祉学会</p>

15時45分 ……………終了

10. 参加申込方法

下記 URL より、11 月 14 日（水）までにお申込ください。定員 200 名になり次第締め切ります。

<https://goo.gl/forms/U9cCVNCerMJPtLtk2>

以下の QR コードからもお申込み可能です。



上記による申込が難しい場合は、下記問合せ先の Email 宛お申し込みください。

件名を「SW 教育推進大会申込」とし、

- ① 氏名、② 氏名のふりがな、③ 都県の別、④ 所属先、⑤ 職種・職位、⑥ ご連絡住所、
- ⑦ ご連絡電話番号、⑧ ご連絡 Email、⑨ 参加希望分科会、⑩ 領収書の宛先

を入力の上ご連絡ください。

11. 問合せ先

お問い合わせは、以下にメールでお願いいたします。なるべく早くお返事いたします。

【千葉県支部幹事校 淑徳大学】山下研究室アドレス koichiro@soc.shukutoku.ac.jp

12. 交通アクセス

淑徳大学ホームページをご覧ください。本大会に際し、JR 蘇我駅よりスクールバスを増便し、皆様のご来学を送迎いたします（なお、JR 千葉駅よりお越しの場合は公共交通機関によるバス「大巖寺・淑徳大学」行きにご乗車くださいますようお願い申し上げます）。

（参考）「ソーシャルワーク教育推進大会」の趣旨及び沿革

《「ソーシャルワーク教育推進大会」の趣旨及び沿革》

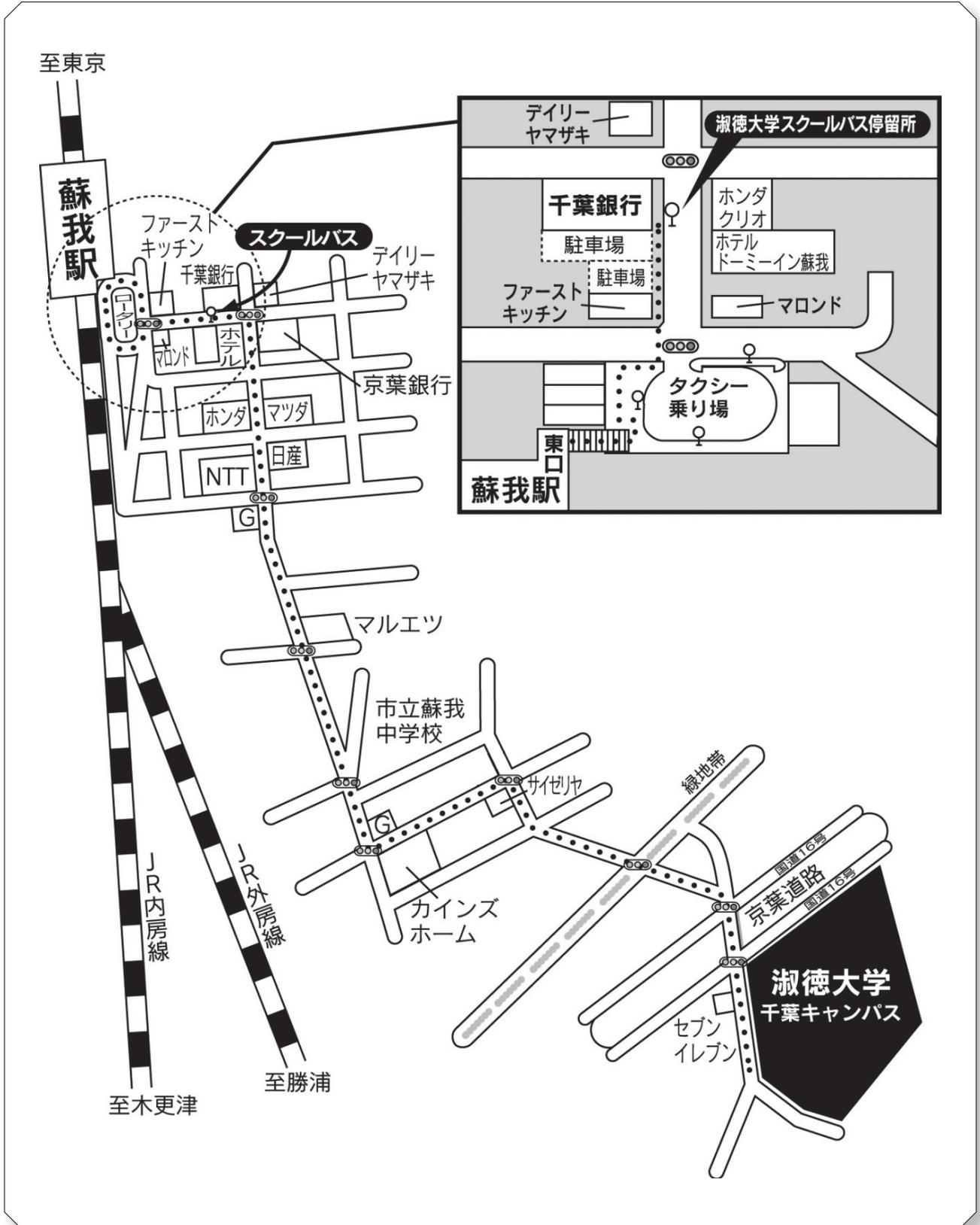
本大会は、日本社会事業学校連盟（日本ソーシャルワーク教育学校連盟）が、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和 62 年法律第 30 号）を踏まえて行なった「社会福祉援助技術現場実習マニュアル（案）」の策定等を契機に、実習教育の一層の充実のために実習施設・機関と養成校とが配属実習に関する諸条件、実習のあり方等について研究・協議をするための場として 1988（昭和 63）年度からブロック別に開催することとした「社会福祉援助技術現場実習研究協議会」に始まり、実習前後の教育、指導体制、実習内容、評価等のあり方について議論が重ねられてきました。

2001（平成 13）年に日本社会福祉士養成校協会・日本社会福祉教育学校連盟が発足してからは両団体の関東甲信越ブロックの事業に移行、2005（平成 17）年度には名称を「社会福祉士実習教育推進大会」とし、社会福祉士実習に焦点化した大会として運営されてきました。その後、2014（平成 26）年度大会（第 10 回）からは、名称を「社会福祉士育成推進大会」に変え、福祉人材の育成・確保、任用拡大等も含めた協議の場といたしました。

2017（平成 29）年度大会（第 13 回）より、日本社会福祉士養成校協会・日本精神保健福祉士養成校協会・日本社会福祉教育学校連盟の三団体が合併したのに伴い、名称を「ソーシャルワーク教育推進大会」とし、社会福祉士・精神保健福祉士を含めたソーシャルワーク教育について、関係者が協議し、より一層の発展につなげていく場としております。

ご案内

淑徳大学地図ならびにスクールバス乗り場



※大学にご到着のおり、受付会場、全体会会場、分科会会場をご案内いたします。